学校番号	1206

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	くらしと保育Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	保育基礎（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・子どもの身体的・精神的発達や子育て支援に関して、関心をもち、意欲的に学びましょう。
・子どもの発達や保育に関する知識・技術を身につける努力をしましょう。
・子どもを取り巻く環境に課題を見いだし考えを深め、自身の考えを、積極的に表現しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・子どもの発達や保育に関する知識・技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・子どもの発達や子育て支援に寄与するために必要な思考力・判断力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
・子どもを取り巻く環境に課題を見出し、解決に向けての意欲を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもの発達の特性，生活と保育に関する知識や、保育に関する基礎的･基本的な技術を総合的に身に付ける。	子どもの発達をふまえ，現状について見直し，課題を見つけ，その解決をめざして思考を深め，適切に判断し，工夫し創造する能力を身につける。	子どもについての関心を持ち，意欲的に学習に取り組み，子どもの発達や子育て支援に寄与していこうとする実践的な態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	子どもの保育環境	オリエンテーション ・保育の意義 ・保育環境 ・作品製作	a:保育の重要性・子育ての現状について理解する。 b:保育の特徴や保育者に求められている姿を考察することができる。 c:自身が親や保育者になることを考え、自分の人生観価値観と結び付けて考える姿勢がみられる。	定期考査	定期考査 制作物 ワークシート	ワークシート 授業観察
	子どもの保育方法	保育の方法 作品製作	a:子どもの成長には、子どもを理解し受け止めてくれる大人の存在が必要なことを理解する。 b:保育の目的や目標を知り、発育のために何が大切か、考える。 C：適切な保育を行うために、どのような働きかけができるか、積極的に取り組む姿勢がみられる。	定期考査	定期考査 制作物 ワークシート	ワークシート 授業観察
後期	子どもの発達	子どもの発達特性 乳幼児期の発育と発達	A:発達過程でできるようになることを挙げることができる。 b:家族・きょうだい・友達などの対人関係と社会性の発達について考え、どのように関わるか自分の考えを持つことができる。 c:自身が保育者になることを想定しながら、子どもの発達を促し、気持ちにどう寄り添うか主体的に考えることができる。	定期考査	定期考査 制作物 ワークシート	ワークシート 授業観察
	子どもの生活	子どもの健康と生活 作品製作	a:基本的生活習慣と社会的生活習慣の違いを理解する。安全に生活するためのポイントや注意点について知る。 b:絵本や作品製作を通して、生活習慣の習得を促すにはどのような工夫が必要か考える。 C:実習に意欲的に取り組もうとしている。行動パターンを推測でき、子どもの行動を理解しようとする意欲がある。	定期考査	定期考査 制作物 ワークシート	ワークシート 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度